

日本センター事業についての質問票

【日本国内関係者(自治体、公共団体、各種団体)】

回答数: 25

質問1	あなたは、日本センターをどのようにして知りましたか。		
①	日本センターのサイトから	3	
②	日本センター職員から	4	
③	外務省、大使館、総領事館職員から	14	
④	外務省以外の省庁、独立行政法人等の関係者から	4	
⑤	その他 ・毎年、日本センターを活用した商談を実施しているため ・極東経済視察を企画したとき旅行会社からの情報 ・1993年設立時、ウラジオストクで、当時の所長さんといっしょに業務をしたことから	6	

質問2	あなたが日本センターと関係したのはどのような分野ですか。		
①	中小企業経営	1	
②	人事労務管理, マネジメント	0	
③	顧客満足	0	
④	マーケティング	1	
⑤	カイゼン, 生産性向上, 品質管理	0	
⑥	財務, 会計	0	
⑦	イノベーション事業化(ベンチャー)	1	
⑧	貿易/経済交流実務	11	
⑨	ビジネスプロトコル	0	
⑩	小売業	1	
⑪	運輸, ロジスティクス	3	
⑫	医療	2	
⑬	観光	2	
⑭	農業/食品加工	2	
⑮	環境/ゴミ処理	1	
⑯	建設/都市インフラ	1	
⑰	日本語	2	
⑱	自治体交流	8	
⑲	その他 ・現地情報の説明 ・ロシアにおけるビジネス環境改善	5	

質問3	日本センターの活動は、あなたにとり満足できるレベルですか。		
①	満足している。	9	
②	やや満足している。	10	
③	あまり満足していない。	1	
④	満足していない。	0	

質問3の2

あなたが日本センターの活動に満足している(満足していない)点は次の何ですか。		満足している	満足していない	
①	日本センターの講座/研修	1	0	
②	日本センターの日本語教育	2	0	
③	日本センターが提供するロシア又はロシア企業情報の内容	11	1	
④	日本センターによるビジネスマッチングの内容	8	1	
⑤	日本センター施設	5	0	
⑥	その他	4	0	
「6. その他」と回答した方は、差し支えない範囲で満足している(満足していない)点をお書き下さい。 ・経済交流支援 ・地元の有望ビジネスマンの紹介や通訳やトランスポーターなどサービス業者を多く知っていること				

質問4	日本センターは、あなたのニーズに合っていますか。		
①	合っている。	8	
②	やや合っている。	8	
③	あまり合っていない。	4	
④	合っていない。	0	

質問4の2(質問4に3または4と回答した方へ)

あなたのニーズを書いて下さい。

※主な回答例(下線は編集時に付記)

- ・地域の企業の製品を販売したいが、ロシア側の企業信用力が不明。また、販売先への橋渡し(言語問題)をお願いしたい。
- ・ビジネスマッチングで個別ケースにおいても何らかの支援を受けたい(企業情報収集、商談・販路開拓等)。
- ・ロシア(ウラジオストク等の極東地域)と日本(特に日本海側地域)の間での貿易活動状況、コンテナ及びバラ貨物の取り扱い状況。
- ・経済セミナー開催支援、現地拠点として最新のビジネス情報提供等。
- ・地元企業や大学による交流のマッチング、地元企業と交流州企業との商談支援、交流州政府との調整。
- ・先方政府と当庁とのこれまでの対話では、ロシア政府にとって、自国の中小企業の育成と振興が喫緊の課題であり、プライオリティの高い政策分野であることや、ロシアに進出している日系企業からも、質の高い中小企業を育成して欲しい旨の書簡を受け取っている旨聴取している。ロシアの中小企業を育てることはロシアに進出する日系企業の安定的な現地調達を助ける潜在性も孕む点等を鑑みて協力を進めているが、例えば、こうした日系企業のニーズを汲み上げ、現地政府、あるいは当該事業が取り次ぎを行い、研修への組み入れやマッチングイベント等を行う等のシステムが望ましい。
- ・OJT研修における企業との交流の時間は、もう少し増やしても良いのではないかと思います。
- ・現在の5拠点(注:6拠点)以外に、例えば南部管区やシベリア管区にもセンターを開設し、広くロシア全体をカバーできる体制にすればより効果があがる。

質問5	日本センターは、あなたの活動に役に立ちましたか。		
①	役に立った。	11	
②	やや役に立った。	6	
③	あまり役に立たなかった。	1	
④	役に立たなかった。	1	
⑤	不明	1	

質問5の2(質問5に1または2と回答した方へ)

日本センターがあなたの活動にどのように役立ったのか出来るだけ具体的に書いて下さい。

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・直近のロシア極東経済情勢などの情報提供。
- ・現地での商談会実施の際に、現地情報の収集、バイヤーとのマッチングや商談会場の借用等、色々御協力いただいた。
- ・ロシア極東の経済状況等に関するブリーフィング、企業訪問先のあっせん。
- ・過去ロシアウラジオストク訪問時に、現地企業とのコンタクト等にご尽力を頂いた。
- ・本県は、ロシア極東地域との交流を重視しており、同地で交流事業を実施する際に、同センター職員、同センターで日本語を学んでいる職員から多くの協力をいただいている。
- ・ロシア国内の市場の動向やリスクマネジメントに関する情報が参考になった。
- ・イベント会場の提供支援へ施設、人的サポート。
- ・商談会の際、ハバロフスク、モスクワ、ニジニ・ノヴゴロドの日本センターにロシア企業を紹介いただいた。お陰様で、成約にいたった案件もあり、大変満足している。
- ・ロシア経済情報、ビジネスマッチング、商談の支援。
- ・姉妹都市交流事業ならびにビジネス交流促進に対するご協力(出張時の現地状況ブリーフィング、アテンド、セミナー開催支援等)。
- ・日本センターで県産品や観光PRを行った。その際、会場や備品の提供はもとより、現地での周知、人集めなど様々な協力をいただいた。また、所長からは現地の状況を詳細に教えていただき、職員の方々も大変親切であった。
- ・東日本大震災により、本県とロシア交流州との経済交流は停滞していたが、県が訪問団を派遣した際、同行した企業とのマッチングに尽力いただき、訪問団事業の終了後もきめ細かにフォローいただいた。新たなマッチング先も見つけていただく等、継続的に支援いただいた結果、現在も本県の企業は商談を進めている。また県内大学へも新たな交流を調整いただき、協力協定書の締結につながった。
- ・当省から極東出張した際に、極東3センターがそれぞれ総領事館と協力しつつ、アポ取りや、面会するにふさわしい企業との会談の場をセッティングしていただくなど、ご尽力いただいた。外交ルートも重要であるが、各所長の長年のロシアでのビジネス経験が生かされる場面も大きいと思う。
- ・現地ロシア情勢の把握。
- ・地元の有望ビジネスマンを紹介いただいた。通訳やトランスポーターなどサービス業者を紹介いただいた。セミナー会場あるいは商談会場としてご提供いただいた。
- ・かつて、地方の経済団体の現地視察をアレンジした際、経済概況等のブリーフィングをしていただいた。同様にかつて、センター長が日本に帰国された時にセミナー講師等を務めていただいた。その他、折に触れての情報交換。
- ・我が方の情報提供事業の一つにロシア極東のビジネス情報があり、日本センターからの情報も役立っている。
- ・地域の動静・同行を把握されている点。

質問6	あなたは、日本センターがロシアと日本との経済交流の促進に寄与していると思いますか。		④ 0%	
①	寄与している。	14		
②	やや寄与している。	5		
③	あまり寄与していない。	1		
④	寄与していない。	0		

日本センターがロシアと日本との経済交流の促進に寄与している(していない)と思う理由を書いて下さい。

【寄与している】

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・(日露経済交流に寄与する)ロシア国内での人材育成に役だっていると思う。
- ・日本センターに協力いただいた現地商談会を通して、実際に経済交流(日本からの輸出)に結び付いた案件がある。
- ・他地域の実例など豊富な実例とノウハウを持っている。
- ・ロシア極東の企業とは、地方自治体や企業単独のアクセスは取り難いのが現状であり、日本センターの支援は非常に役立っていると感じている。
- ・本県だけでなく、地方自治体が出張した際には、そのアレンジ、通訳手配等で多くの協力をしており、経済交流に寄与している。
- ・個別案件の発掘及び日本企業への繋ぎに從事している点。
- ・ロシア企業人に日本の企業文化等を継続的に伝授している点。
- ・卒業生クラブの組織、運営を行っていること。卒業生クラブのメンバーを積極的に日本企業に紹介していること。ロシアにはホテル業など、民間のサービス業が発達していなかったり、サービスの質が悪かったり、サービスの割りに高かったりする。そんな場合、日本センターであれば、必要最低限の設備を備えているので、セミナー会場、商談会場として使いやすい。
- ・特に中小企業のマッチングにおいて、信用のおけるロシア企業を紹介いただき、日本側企業も商談内容に大変満足している。中小企業間の日露経済交流に大変寄与している。
- ・経済セミナー開催支援、現地拠点として最新のビジネス情報提供等を通じ、経済交流の促進に寄与していると思う。
- ・本県のフェアを開催した際に協力をしていただいたこと、また、その際に現地のバイヤーを紹介していただいた。
- ・本県や県内企業では、距離や言語の問題から調べきれない情報や調整しきれない部分をきめ細かく情報提供、調整いただくことで、自治体としても、本県企業、大学も新たな交流の機会やビジネスの機会を得ることができている。
- ・実績(参加者)が堅調に積み上がっていることや、継続事業であること。
- ・やはり所長のロシアビジネスにおける最前線の経験が、日露双方のマッチングに生かされていると感じる。民間からしても、大使館や総領事館に相談するのも気が引けるが、民間出身の所長がいる日本センターであれば、相談しやすいというのはあると思う(日露双方にとって)。
- ・情報収集が難しいロシアにおけるビジネスに関する情報提供は貴重ではないかと思う。日本センターが実施するロシア人向け研修は、ロシアにおける日本への理解者を増やす意味で重要だと思う。
- ・ロシアビジネスに関心を持ち始めた企業関係者にとっての「入口」を提供している。
- ・日本センターの研修事業やマッチング事業を通じて、中小企業の対口貿易につながるケースがある。

【寄与していない】

- ・日本センターの経済交流の促進に寄与しているかどうかの尺度が不明であり、寄与していることを表す成果指標の情報がないため。

質問7	あなたは、日本センターが日露間の貿易投資活動において日本企業の役に立っていると思いますか。		④ 0%	
①	役に立っている。	8		
②	やや役に立っている。	10		
③	あまり役に立っていない。	2		
④	役に立っていない。	0		

質問7の2

日本センターが日露間の貿易投資活動において日本企業の役に立っている(立っていない)と思う理由を書いて下さい。

【役立っている】

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・中長期的視点で取り組むことができる企業には役立つが、短期視点・即戦力的なものを期待するにはやや弱い気がする。
- ・水先案内人として、企業レベルでの取引感覚がある。
- ・日本企業単独でロシア企業と交渉を行うのは困難。ロシア実業界も人的コネクションが強みを生かす現状からも、日本センター独自のコネクションは貴重と考えている。

- ・貴センターは、日本の商材の輸出において、現地のニーズなどの的確な情報を頂ける唯一の機関であると認識。
- ・日本センターは、日本に関心のある社会人(多くがビジネスマン)に日本語を教えると共に、実務的な研修も実施している。
- ・経済交流促進に寄与していると考えますが、他方、マンパワー等の問題で必ずしも組織的な連携が出来ていないように見受けられる。日露貿易投資促進機構の枠内でジェットロ、ROTOBOとも連携していると承知しているが、例えばジェットロの地方事務所も含めた連携があればより一層効果的な日本企業支援の可能性が高まるものと思料。
- ・前述したように実際に日本センターからの情報により貿易関係が進展し、成約した案件が出ている。
- ・日本センターがあることで、初めて取引を行う企業は現地情報を得ることが可能となっていると思われるため。
- ・経済セミナー開催支援、現地拠点として最新のビジネス情報提供等を通じ、貿易投資活動の促進に寄与していると思う。
- ・参加者が多いという点を鑑みると、それだけ日本に対する理解が深まっている可能性があり、通商上利点と言えるものと思料。
- ・特に何の手立てなくとも投資が行われるエリアとは異なり、日本政府がこのようなセンターを設置していること自体が、ある種の安心感につながり、日本企業が貿易や投資をするに当たっては、判断材料として一つのプラスになっていると思う。
- ・情報収集が難しいロシアにおけるビジネスに関する情報提供は貴重ではないかと思う。
- ・創設期から近年までは大いに役立っていたと思うが、最近、日本センターの所在地域によっては、経済の地盤沈下が激しく、日本企業にとって、魅力の低下している地域もある。そのような地域は活用度が下がっているのではと推測する。
- ・現地を訪問した企業等に対して、基礎的な情報提供やビジネスマッチングを行っているが、その内容には限界がある。所長一人で研修からミッションの受入、個別ビジネスマッチングまでこなすのは無理がある。在外公館専門調査員と類似の形での採用や企業・自治体等からの出向などにより、若手・中堅の職員を配置する必要があるのではないか。

【役立っていない】

※主な回答

- ・ロシアと貿易をするためには、ロジスティックや関税等の問題でかなりハードルが高いと思う。
- ・日本センターの存在を、これまで聞いたことがないため。

質問8	あなたは、日本センターが他の日本側関係機関(JETRO, ROTOBO)と連携調整をとっていると思いますか。		④ 0%	⑤ 6%	① 39%	② 33%	③ 22%
①	連携調整をとっている。	7					
②	やや連絡調整をとっている。	6					
③	あまり連絡調整をとっていない。	4					
④	連携調整をとっていない。	0					
⑤	不明	1					

質問8の2

日本センターが他の日本側関係機関との連絡調整をとっている(とっていない)と思う理由を書いて下さい。

【連絡調整をとっている】

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・関係機関同士のいろんな形での情報交換が十分に行われているように思う。
- ・現地に日本人と関係企業が少ないため、日本の窓口機能と想定。
- ・日本センター、ROTOBO、JETROは、日本の貿易投資促進機構の一員だから。
- ・モスクワ、ペテルブルクにおいては定期的に大使館・総領事館、ジェットロ、ROTOBOとの連絡会を持っているため。
- ・ROTOBOと共同のセミナー、商談会を多く開催している。
- ・連絡はとっておられると推測するが、同じような事業を並行的に各機関で実施しているような印象も受ける。
- ・所長や職員の個人差があるかもしれない。
- ・日本センター所長と本市国際担当の間でメールでのやり取りがあり、所長が当地を訪問されることもあるので、日本センターは日本側関係機関と連携調整をとっていると思う。
- ・必要に応じて、他の日本側関係機関との連絡調整も行っていただいているため。
- ・日露貿易投資促進機構本部調整会議では、情報共有が各組織同士でしっかりとなされていると認識。セミナーでは、モスクワの所長から、関係企業に声がけいただいたなどのご協力をいただいたこともある。
- ・現地日本センターとの連絡調整はあるのかもしれないが、あまりよく見えない。

【連絡調整をとっていない】

※主な回答

- ・どのように連携調整がとられているかの情報がなかったため。
- ・連携調整をとっていることを知らなかった。
- ・具体的な話が聞こえてこない。

質問9	あなたは、これからも日本センターをあなたの活動に活用していきたいですか。		④ 0%	③ 5%	① 60%	② 35%
①	活用していきたい。	12				
②	やや活用していきたい。	7				
③	あまり活用していきたくない。	1				
④	活用していきたくない。	0				

これからも日本センターをあなたの活動に活用していきたい(いきたくない)理由を書いて下さい。

【活用していきたい】

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・極東ロシアという限られた地域の数少ない信頼できる情報ソースとして活用したい。
- ・ロシアとの経済交流を希望する県内企業があれば、日本センターに協力をお願いしたい。
- ・最初の相談先として必要と感じている。
- ・ロシア極東の各分野と緊密な連携を図っているため。
- ・地元の日本海側都市の将来の可能性を拓げるには、ロシアとの経済交流を欠かすことが出来ない。よって、今後も必要に応じ、貴センターの支援をお願いしたい。
- ・日本とロシアの国民の相互理解は、いまだに進んでいるとは言えず、同センターは、日本文化、日本経済のロシアにおける数少ない橋渡しを担っており、今後とも活用していきたい。
- ・地方団体・企業とロシアとの貿易・経済交流で実益となるよう支援願います。
- ・ロシア全土をくまなく網羅し、現地における信用のおける情報を入手する上で最も適した機関であるため。
- ・公平性、日本側の視点でのロシア企業の紹介。
- ・今後とも、姉妹都市交流事業推進、当地とロシアのビジネス交流促進にむけ、現地拠点としてのタイムリーな情報提供を期待している。また、現地出張時のサポートをお願いしたい。
- ・ロシアの現地に根差した日本の組織であるため、ロシアでの活動には欠かせない組織だと思う。
- ・企業の海外販路拡大に結びつくことであれば活用したいため。
- ・事業としてロシアの交流州へ訪問し、現地の情報を得ることは、自治体として隔年～数年に一度になってしまうことが多い。このため、現地の最新情報や状況から適切なアドバイスをいただける日本センターの存在は大きく、今後も活用しながら交流を発展させたいと考えているため。
- ・共同でセミナーを開催する等、協力していきたい。
- ・現地の情報収集及び関係する個別企業との面談やセミナー等のアレンジでお力添え頂けると助かる。
- ・ROTOBO、JETROの事務所があるモスクワ、JETROの事務所があるサンクトにおいても、存在が重要であるが、これらの事務所がない地域では、日本企業の活動のベースとしてとりわけ存在が重要である。
- ・現状の日本センターの人員体制では、余計な負荷をかけるのは申し訳なく、本来業務(対民間企業支援)に支障のない範囲で、情報交換したい。
- ・極東に常駐する機関として、これからも情報提供をお願いしたい。
- ・情報拠点として有意義。

【活用していきたくない】

- ・日本センターの情報は、日露経済室からの情報でしか得られていない状況である。

あなたにとり日本センターを活用する利点は何ですか。思われたことをお書き下さい。

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・経済交流・物流ルート構築等で適宜アドバイスをいただければありがたい。
- ・あまり情報が無いロシアとの経済交流活動を目指す場合、信頼のおける相談窓口だと感じている。
- ・未知なる地域へ踏み出すために現地のナマの情報が必要なため。
- ・現地でのコネクション、ネットワーク作り、経済活動・販路拡大のため活用。
- ・ロシア情報の把握、経済交流時の現地機関との下調整。
- ・日本とロシアの国民の相互理解は、いまだに進んでいるとは言えず、同センターは、日本文化、日本経済のロシアにおける数少ない橋渡しを担っているから。
- ・ロシアは、もっとも変化が著しい国で、かつ地域格差もある。小職は過去5年毎年モスクワを訪問しているが、マスコミの報道には違和感を感じている。そうした意味で各地の日本センターの情報は有益と考えます。
- ・現地の経済情報、地元優良企業情報が集積しており、日本人所長がいて活用しやすい。しかも無料であること。
- ・現地ビジネス情報の入手。ロシア各地の最前線において、細部にわたり、丁寧に対応していただけるため。
- ・ロシア企業とのつながり。
- ・現地拠点としてロシア事情に詳しい点が利点である。
- ・現地でのビジネス実務やその他の習慣、人脈に精通したセンター長が、現地の現状から適切なアドバイスをし、また堪能な語学力を生かし、現地側と様々な調整や情報収集をして頂けること。
- ・実際に活用したことは無いが、当該センターを通じ、現地企業人・起業家・経営者の方々の生の声を聞いてみたいと感じる。日系企業との取引開始の可能性を見いだし得る。
- ・日本センターのような普段から民間と密に交流している組織の情報は貴重。例えば今後、ロシアビジネス全般に明るい日本センターの知見と当省の専門的知見を生かして、共同でセミナーを行う等、日露双方にとって、日本センター、当省にとって、メリットとなる活動も考えられる。
- ・OJT研修は有用かと思いますので、継続して実施頂きたく思います。
- ・日本人の目で、皮膚感覚で現地の経済状況等をつかんでおられること。